

## 200号に到達しました。

2006年4月に服部新聞を書き始めて17年で200号に達しました。第1号は200人の方達に郵便でお送りしていましたが、最近はメールでおよそ5,000人の方にお送りさせて頂いています。

当初は200号に相応しい内容にしたかったのですが、様々な理由で200号に達したと言う事実だけにさせて頂きました。

### 462回旭川林産協同組合広葉樹銘木市



2023年1月27日に開催された広葉樹市には日本中の関係者が一同に集まりました。終始熱気を帯びた展開になっていました。特にナラ材は終始高値で推移していました。昨年11月から続くナラ材の高騰の原因は、ロシア産ナラ材の輸出制限処置・アメリカ材ホワイトオーク材の入荷減、ウクライナ危機の人手不足によるヨーロッパのナラ材の伐採減少、日本国内のナラ材の資源枯渇等の複合的要素によって価格上昇が起きている。

要は、需給バランスがまるっきり崩れているのです。果たしてこの現象がいつまで継続されるのかは正直言って解りません。

この状況に対して服部商店は以下の様に考えています。

- 1, 現在流通している材が最も安い。
- 2, レッドオークを使って欲しい。
- 3, 現在お客様に商談中の設計単価を30%近く上げて頂きたい。

以上3項目に簡単にまとめました。

針葉樹・広葉樹を問わず、天然林から生産された材は世界中で枯渇の一途です。その環境の中で材木屋として何が出来るのかを皆様と一緒に考えたいと思っています。

北海道産ナラ原木を 8 本集めました。



No.4	280×54	No.239	360×42
No.317	300×50	No.440	180×80
No.2373	340×52	No.5038	220×58
No.5400	480×56	No.5411	600×44

8本とも最高の原木には違いありませんが、すこし欠点は有ります。しかし現在の服部商店のナラ材を購入して頂いているユーザー様に満足頂ける原木です。

No.5038とNo.5400は北海道大学演習林生産材です。No.5411は東京大学演習林生産材です。

200号のトップに書きましたが、ナラ材の価格が暴騰していますが、服部商店の社長として、社長らしく、社長しか出来ない仕事をしてきました。その結果が前ページの8本のナラ原木です。

世間のSNSの記事の中に北海道の製材工場の製材品を購入したが、1B/Lに建具用に向く材が10%も入っていないとか、製品を作るときシラタを落としてほしいとか様々な要望を発信していることを目の当たりにしますが、我々は木材のプロフェッショナルです。建具材に向く超高品質の材が必要ならそれなりに工夫をしなければ無理です。

すなわち楽をして、商いが出来る時代はもう終わったのです。我々材木屋はプロフェッショナルとして立場は様々ですが、正しい事を、正しい方法で、マーケットが伝える作業をしなければならぬと思っています。

## 超お買い得な買い物もしました。



左は長さ3メートル直径40センチの緋カツラです。右は長さ9メートル直径46センチの東京大学演習生産材のセン原木です。2本とも凄く利口に仕入れが出来ました。これこそがプロフェッショナルの仕入れです。ナラ材の超高値に沸く会場の雰囲気にも呑まれる事もなく超積極的に超冷静に仕入れが出来ました。

確かに北海道の広葉樹は樹種を問わず供給が需要より遥かに少ないから暴騰していますが、そうでない原木も中には有ります。2,400㎡(8,600本)の出品の中で2本を仕入れできた喜びは、ナラ原木を買い付け出来た8本より数段嬉しいです。

**2023 年ウクライナ危機  
早く終わって欲しいキャンペーン  
2023年2月1日～2月28日**

お得意先様向けのキャンペーン

毎週先着にて、30,000 円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）  
御買い上げの 5 名様に、アマゾンギフト券 5,000 円を差し上げます。

新規のお客様限定のキャンペーンを実施

50,000 円（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）以上お買い上げの  
全員に、アマゾンギフト券 10,000 円を差し上げます。

